

(1) 教職課程の履修について〈全学〉

① 教職課程について

本学には教育職員免許状（以下、教員免許という。）を取得するために必要な、文部科学大臣の認定する教職課程が設けられている。教員免許を取得しようとする者は、「教育職員免許法」に基づき、本学が定める教職に関する単位を卒業要件とは別に修得しなければならない。また、卒業に関わる科目の中でも、特に指定する幾つかの科目を履修することが義務付けられている。

教員免許の取得に至るまでに、教員の社会的責務の重要性から、本学が定める所定の申し込みや説明会の出席など様々な手続きが必要となっているので、1年次から計画的に履修するよう、特に注意することが望まれる。また、ガイダンスには必ず出席しなければならない。

なお、教育学部教育学科の教員養成課程の履修については、別途定めている。

② 本学の教職課程で取得できる免許状の種類・教科

文 学 部	文学科日本文学専攻	中学校教諭一種免許状（国語） 高等学校教諭一種免許状（国語）
	文学科英米文学専攻	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）
	文学科歴史学専攻	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
経 済 学 部	経済学科	高等学校教諭一種免許状（公民）
	経営学科	高等学校教諭一種免許状（商業）
経済情報学部	経済情報学科	高等学校教諭一種免許状（情報）
芸 術 学 部	芸術学科	中学校教諭一種免許状（美術） 高等学校教諭一種免許状（美術） 高等学校教諭一種免許状（工芸）
スポーツ科学部	スポーツ科学科	中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育）
栄 養 学 部	栄養学科	栄養教諭一種免許状

③ 法律に定められている規定

イ. 「教育職員免許法第5条別表第1」に定められている規定

所要資格		基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位
免許状の種類			教科及び教職に関する科目
中学校教諭	一種免許状	学士の学位を有すること。	59
高等学校教諭	一種免許状	学士の学位を有すること。	59

ロ. 「教育職員免許法第5条別表第2の2」に定められている規定

所要資格		基礎資格	大学において修得することを必要とする栄養に係る教育及び教職に関する科目の最低単位数
免許状の種類			
栄養教諭	一種免許状	学士の学位を有すること、かつ、栄養士法第二条第三項の規定により管理栄養士の免許を受けていること又は同法第五条の三第四号の規定により指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、同法第二条第一項の規定により栄養士の免許を受けていること。	22

ハ、「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6」に定められている規定

日本国憲法 2 単位、体育 2 単位、外国語コミュニケーション 2 単位、数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2 単位を修得していること。

④ 本学で修得すべき単位

各教科の教員免許の取得を目指す者は、次表Ⅰ・Ⅱに示されている科目の中から必要単位を修得しなければならない。また、次表Ⅴ「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6」に該当する科目を修得しなければならない。

中学校の教員免許の取得を希望する者は、別途 7 日間の介護等の体験（教職ガイダンスで指示する）が必要である。以上の要件を満たした上で、免許状の申請を行い、卒業と同時に教員免許を取得することができる。

栄養教諭の免許の取得を目指す者は、次表Ⅲ・Ⅳに示されている科目の中から必要単位を修得しなければならない。また、次表Ⅴ「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6」に該当する科目を修得しなければならない。以上の条件を満たした上で、免許状の申請を行い、卒業後に教員免許を取得することができる。

⑤ 教育実習・栄養教育実習

4 年次の「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」「栄養教育実習」の履修は、原則として、④に示されている科目のうち、3 年次までに配当されている必修科目の単位をすべて修得した者に限り認めている。

また、3 年次終了までに授業態度、関係科目修得状況などにより、実習生としてふさわしくないと本学が判断した場合に履修を認めないことがある。

4 年次の教育実習・栄養教育実習に係る手続きは 3 年次から始まる。原則として、2 年次終了時に GPA2.0 以上、かつ、④に示されている科目のうち 2 年次までに配当されている必修科目の単位をすべて修得した者に限り、教育実習の手続きを行うことを認めている。

「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」「栄養教育実習」の詳細については、教職ガイダンス及び説明会等で別途指示するので、該当学生は、これらの会合には必ず出席しなければならない。

「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」については、原則として本学の附属校又は協力校で実施する。

⑥ 学校体験活動

教育実習、教員採用試験、就職後などに、学校でのボランティア活動の経験が役に立つため、積極的に参加することが望ましい。また、本学の定める手続きを経て、原則として本学の附属校及び協力校等で 30 時間以上の活動を行うことで、「学校体験活動」の単位を認定する。「学校体験活動」の詳細については、教職ガイダンス及び説明会で別途指示するので、該当学生は必ず出席しなければならない。

⑦ 介護等の体験

中学校の教員免許の取得を希望する者は、介護等の体験（特別支援学校 2 日間、社会福祉施設 5 日間の合計 7 日間）を行わなくてはならない。介護等の体験は、本学では原則 3 年次に、体験希望者についてガイダンス及び申し込みを行う。体験希望者は、社会福祉施設に対する費用を別途払わなくてはならない。（2022 年度は 7,500 円）

⑧ 教職課程履修費

本課程履修者は履修費（2 年次前期 15,000、3 年次前期 15,000 円、4 年次前期 15,000 円）を要する。

⑨ 文学部文学科各専攻での履修科目について

文学部文学科の日本文学専攻・英米文学専攻・歴史学専攻に置かれた教職課程に関して、教科に関する専門的事項の必修科目のうち専門教育科目は、当該専攻の学生のみが受講できる。

上記の当該専攻の学生のみが受講できる科目を、他の学生が受講したい場合には、事前に各授業科目担当の教員から履修許可の内諾を得た上で、「他専攻履修願」を提出する必要がある。

I. 教育の基礎的理解に関する科目等（中学校一種・高等学校一種）（共通開講）

免許法上の科目区分	授業科目名	単位数		配当年次	備考	
		必修	選択必修			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2		1年後期	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2		1年前期	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学	2		2年前期	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		2年前期	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1		2年前期	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		1年後期	
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2		2年前期	※中免のみ
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践	2		3年前期	※中免は「総合的な学習」、高免は「総合的な探究」
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）	2		2年後期	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		2年後期	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2		3年後期		
科目 教育実践に関する	教育実習	教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ	1 4 3 2		4年前期 4年前期 4年前期 4年前期	※中免は4単位以上、高免は2単位以上を選択必修
	学校体験活動	学校体験活動		1	1-3年通年	
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		4年後期	
合 計			24	10		

注1 中学校一種取得の場合は28単位（必修24単位＋選択必修4単位以上）を修得すること。

注2 高等学校一種取得の場合は「道徳教育論」を除く24単位（必修22単位＋選択必修2単位以上）を修得すること。

注3 表中の科目は、卒業要件に含まれない。

Ⅱ. 教科及び教科の指導法に関する科目

○付数字は教職必修

【文学科 日本文学専攻】

区分	授業科目	単位数	配当年次
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概説Ⅰ	②	1年前期
	日本語学概説Ⅱ	②	1年後期
	日本語史概説Ⅰ	2	2年前期
	日本語史概説Ⅱ	2	2年後期
	日本語文法Ⅰ	2	3年前期
	日本語文法Ⅱ	2	3年後期
	日本語学演習	4	3年通年
	日本語表現法Ⅰ	②	1年前期
	日本語表現法Ⅱ	②	1年後期
	国文学 (国文学史を含む。)	日本文学概説Ⅰa	①
日本文学概説Ⅰb		①	1年Q2
日本文学概説Ⅱa		①	1年Q3
日本文学概説Ⅱb		①	1年Q4
日本文学史Ⅰ		②	2年前期
日本文学史Ⅱ		②	2年後期
古典文学講読Ⅰ		2	2年前期
古典文学講読Ⅱ		2	2年後期
近・現代文学講読A		2	2年前期
近・現代文学講読B		2	2年後期
評論の読み方		2	2年後期
地域と文学a		1	2年Q1
地域と文学b		1	2年Q2
古典文学演習		4	3年通年
近・現代文学演習A		4	3年通年
近・現代文学演習B		4	3年通年
近・現代文学演習C	4	3年通年	
漢文学	漢文学講読Ⅰ	②	2年前期
	漢文学講読Ⅱ	②	2年後期
書写(書写を中心とする。)	書道(書写実習)	②	3年通年
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語科教育法Ⅰ	④	2年通年
	国語科教育法Ⅱ	④	3年通年
合計	31単位以上を修得		

区分	授業科目	単位数	配当年次
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概説Ⅰ	②	1年前期
	日本語学概説Ⅱ	②	1年後期
	日本語史概説Ⅰ	2	2年前期
	日本語史概説Ⅱ	2	2年後期
	日本語文法Ⅰ	2	3年前期
	日本語文法Ⅱ	2	3年後期
	日本語学演習	4	3年通年
	日本語表現法Ⅰ	②	1年前期
	日本語表現法Ⅱ	②	1年後期
	国文学 (国文学史を含む。)	日本文学概説Ⅰa	①
日本文学概説Ⅰb		①	1年Q2
日本文学概説Ⅱa		①	1年Q3
日本文学概説Ⅱb		①	1年Q4
日本文学史Ⅰ		②	2年前期
日本文学史Ⅱ		②	2年後期
古典文学講読Ⅰ		2	2年前期
古典文学講読Ⅱ		2	2年後期
近・現代文学講読A		2	2年前期
近・現代文学講読B		2	2年後期
評論の読み方		2	2年後期
地域と文学a		1	2年Q1
地域と文学b		1	2年Q2
古典文学演習		4	3年通年
近・現代文学演習A		4	3年通年
近・現代文学演習B		4	3年通年
近・現代文学演習C	4	3年通年	
漢文学	漢文学講読Ⅰ	②	2年前期
	漢文学講読Ⅱ	②	2年後期
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語科教育法Ⅰ	4	2年通年
	国語科教育法Ⅱ	④	3年通年
合計	35単位以上を修得		

中学校一種(国語)

高等学校一種(国語)

【文学科 英米文学専攻】

中学校一種（英語）

区分	授業科目	単位数	配当年次
英語学	英語学概論Ⅰ	②	1年前期
	英語学概論Ⅱ	2	1年後期
	英語文法論Ⅰ	2	2年前期
	英語文法論Ⅱ	2	2年後期
	英語学講読Ⅰ	2	2年前期
	英語学講読Ⅱ	2	2年後期
	英語学演習Ⅰ	2	3年前期
	英語学演習Ⅱ	2	3年後期
	言語習得研究Ⅰ	2	2年前期
	言語習得研究Ⅱ	2	2年後期
英語文学	英米文学概論Ⅰ	②	1年前期
	英米文学概論Ⅱ	2	1年後期
	英米文学講読Ⅰ	2	2年前期
	英米文学講読Ⅱ	2	2年後期
	原典講読Ⅰ	2	3年前期
	原典講読Ⅱ	2	3年後期
	英米文学演習Ⅰ	2	3年前期
	英米文学演習Ⅱ	2	3年後期
英語コミュニケーション	English Presentation (Intermediate)Ⅰ	②	2年前期
	English Presentation (Intermediate)Ⅱ	②	2年後期
	World Culture through EnglishⅠ	②	2年前期
	World Culture through EnglishⅡ	②	2年後期
	English Writing	2	3年前期
	English DiscussionⅠ	2	3年前期
	English DiscussionⅡ	2	3年後期
異文化理解	英米文化論Ⅰ	②	2年前期
	英米文化論Ⅱ	②	2年後期
	海外留学	4	2-4年
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ	④	2年通年
	英語科教育法Ⅱ	④	3年通年
合計	31単位以上を修得		

高等学校一種（英語）

区分	授業科目	単位数	配当年次	
英語学	英語学概論Ⅰ	②	1年前期	
	英語学概論Ⅱ	2	1年後期	
	英語文法論Ⅰ	2	2年前期	
	英語文法論Ⅱ	2	2年後期	
	英語学講読Ⅰ	2	2年前期	
	英語学講読Ⅱ	2	2年後期	
	英語学演習Ⅰ	2	3年前期	
	英語学演習Ⅱ	2	3年後期	
	言語習得研究Ⅰ	2	2年前期	
	言語習得研究Ⅱ	2	2年後期	
	英語文学	英米文学概論Ⅰ	②	1年前期
		英米文学概論Ⅱ	2	1年後期
英米文学講読Ⅰ		2	2年前期	
英米文学講読Ⅱ		2	2年後期	
原典講読Ⅰ		2	3年前期	
原典講読Ⅱ		2	3年後期	
英米文学演習Ⅰ		2	3年前期	
英米文学演習Ⅱ		2	3年後期	
英語コミュニケーション	English Presentation (Intermediate)Ⅰ	②	2年前期	
	English Presentation (Intermediate)Ⅱ	②	2年後期	
	World Culture through EnglishⅠ	②	2年前期	
	World Culture through EnglishⅡ	②	2年後期	
	English Writing	2	3年前期	
	English DiscussionⅠ	2	3年前期	
	English DiscussionⅡ	2	3年後期	
異文化理解	英米文化論Ⅰ	②	2年前期	
	英米文化論Ⅱ	②	2年後期	
	海外留学	4	2-4年	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ	4	2年通年	
	英語科教育法Ⅱ	④	3年通年	
合計	35単位以上を修得			

○付数字は教職必修

【文学科 歴史学専攻】

中学校一種（社会）

区分	授業科目	単位数	配当年次
日本史・外国史	日本史概説Ⅰ	②	1年前期
	日本史概説Ⅱ	②	1年後期
	西洋史概説Ⅰ	②	1年前期
	西洋史概説Ⅱ	②	1年後期
	東洋史概説Ⅰ	②	1年前期
	東洋史概説Ⅱ	②	1年後期
	考古学概説Ⅰ	2	1年前期
	考古学概説Ⅱ	2	1年後期
	文献資料研究法Ⅰ	2	2年前期
	文献資料研究法Ⅱ	2	2年後期
	東洋史文献講読Ⅰ	2	2年前期
	東洋史文献講読Ⅱ	2	2年後期
	西洋史文献講読Ⅰ	2	2年前期
	西洋史文献講読Ⅱ	2	2年後期
地理学（地誌を含む。）	人文地理学概説Ⅰ	②	1年前期
	人文地理学概説Ⅱ	2	1年後期
	自然地理学概説Ⅰ	②	1年前期
	自然地理学概説Ⅱ	②	1年後期
	地誌	②	2年前期
「法学、政治学」	政治学概論	②	2年前期
	西洋政治史	2	2年前期
「社会学、経済学」	社会学Ⅰ	②	1年前期
	社会学Ⅱ	②	1年後期
	経済学Ⅰ	2	1年前期
	経済学Ⅱ	2	1年後期
	日本経済史	2	2年後期
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学Ⅰ	②	1年前期
	哲学Ⅱ	②	1年後期
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・地歴科教育法	④	3年通年
	社会科・公民科教育法	④	2年通年
合計	38 単位以上を修得		

高等学校一種（地理歴史）

区分	授業科目	単位数	配当年次	
日本史	日本史概説Ⅰ	②	1年前期	
	日本史概説Ⅱ	②	1年後期	
	考古学概説Ⅰ	2	1年前期	
	考古学概説Ⅱ	2	1年後期	
	古文書学演習Ⅰ	2	2年前期	
	古文書学演習Ⅱ	2	2年後期	
	文献資料研究法Ⅰ	2	2年前期	
	文献資料研究法Ⅱ	2	2年後期	
	外国史	東洋史概説Ⅰ	②	1年前期
東洋史概説Ⅱ		②	1年後期	
西洋史概説Ⅰ		②	1年前期	
西洋史概説Ⅱ		②	1年後期	
東洋史文献講読Ⅰ		2	2年前期	
東洋史文献講読Ⅱ		2	2年後期	
西洋史文献講読Ⅰ		2	2年前期	
西洋史文献講読Ⅱ		2	2年後期	
東洋史演習Ⅰ		2	3年前期	
東洋史演習Ⅱ		2	3年後期	
西洋史演習Ⅰ		2	3年前期	
西洋史演習Ⅱ		2	3年後期	
人文地理学・自然地理学		人文地理学概説Ⅰ	②	1年前期
		人文地理学概説Ⅱ	2	1年後期
	自然地理学概説Ⅰ	②	1年前期	
	自然地理学概説Ⅱ	②	1年後期	
地誌	地誌	②	2年前期	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・地歴科教育法	④	3年通年	
合計	35 単位以上を修得			

○付数字は教職必修

【経済学科】

高等学校一種（公民）

区分	授業科目	単位数	配当年次	
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論	②	2年前期	
	民法Ⅰ	2	2年前期	
	民法Ⅱ	2	2年後期	
	政治学概論	②	2年前期	
	政治学	2	3年後期	
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学Ⅰ	②	1年前期	
	マクロ経済学Ⅰ	②	2年前期	
	マクロ経済学Ⅱ	2	2年後期	
	ミクロ経済学Ⅰ	②	2年前期	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2年後期	
	国際経済	②	3年後期	
	現代経済論Ⅰ	2	1年前期	
	現代経済論Ⅱ	2	1年後期	
	労働経済学	2	2年後期	
	財政学Ⅰ	2	3年前期	
	財政学Ⅱ	2	3年後期	
	経済学史	2	2年後期	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学Ⅰ	②	1年前期
		哲学と倫理	②	2年前期
心理学の基礎		②	1年前期	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」	公民科教育法	④	3年通年	
合計	35単位以上を修得			

【経営学科】

高等学校一種（商業）

区分	授業科目	単位数	配当年次
商業の関係科目	経営学基礎Ⅰ	②	1年前期
	経営学基礎Ⅱ	2	1年後期
	経営管理論Ⅰ	②	2年前期
	経営管理論Ⅱ	2	2年後期
	商法Ⅰ	②	3年前期
	商法Ⅱ	2	3年後期
	会計学基礎Ⅰ	②	1年前期
	会計学基礎Ⅱ	2	1年後期
	財務会計Ⅰ	②	2年前期
	財務会計Ⅱ	2	2年後期
	原価計算Ⅰ	②	2年前期
	原価計算Ⅱ	2	2年後期
	経営分析	2	3年前期
	マーケティング論Ⅰ	②	2年前期
	マーケティング論Ⅱ	②	2年後期
	消費者行動論	②	3年前期
	観光と経済	②	2年後期
	ビジネス戦略	2	3年前期
	企業価値評価	2	3年後期
	人的資源管理	②	3年後期
	プログラミング基礎 a	①	1年Q1
	プログラミング基礎 b	①	1年Q2
	職業指導	職業指導	②
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」	商業科教育法	④	3年通年
合計	35単位以上を修得		

○付数字は教職必修

【経済情報学科】

高等学校一種（情報）

区分	授業科目	単位数	配当年次
情報社会・情報倫理	情報社会論	②	3年前期
	情報倫理	2	2年前期
コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	経済情報学Ⅰ	②	2年前期
	経済情報学Ⅱ	2	2年後期
	社会データ分析	2	3年前期
	金融データ分析	2	3年後期
	プログラミングⅠa	1	1年Q3
	プログラミングⅠb	1	1年Q4
	プログラミングⅡa	1	2年Q1
	プログラミングⅡb	1	2年Q2
	経営科学Ⅰ	2	2年前期
	経営科学Ⅱ	2	2年後期
	機械学習Ⅰ	2	3年前期
	機械学習Ⅱ	2	3年後期
	情報システム（実習を含む。）	情報科学Ⅰ	②
情報科学Ⅱ		2	1年後期
情報技術基礎Ⅰ		2	1年前期
情報技術基礎Ⅱ		2	1年後期
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	情報通信ネットワークⅠ	②	3年前期
	情報通信ネットワークⅡ	2	3年後期
	ネットワークと情報セキュリティ	2	3年後期
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	マルチメディア表現と技術Ⅰ	②	2年前期
	マルチメディア表現と技術Ⅱ	2	2年後期
情報と職業	情報と職業	②	2年後期
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	情報科教育法	④	3年通年
合計	35 単位以上を修得		

【芸術学科】

中学校一種（美術）

区分	授業科目	単位数	配当年次
絵画（映像メディア表現を含む。）	絵画演習	②	1年後期
	絵画Ⅰ	4	2年前期
	絵画Ⅱ	4	2年後期
	絵画Ⅲ	4	3年前期
	絵画Ⅳ	4	3年後期
	デッサン	②	2年前期
	版画基礎	2	2年前期
	映像論	②	2年前期
	彫刻	彫刻基礎	②
デザイン（映像メディア表現を含む。）	基礎造形論Ⅰ	2	1年前期
	基礎造形論Ⅱ	2	1年後期
	デザイン演習Ⅰa	②	2年Q1
	デザイン演習Ⅰb	②	2年Q2
	デザイン演習Ⅱa	2	2年Q3
	デザイン演習Ⅱb	2	2年Q4
	デザイン基礎	2	1年後期
	メディア基礎	2	1年後期
工芸	工芸史	②	1年前期
	工芸概論	②	1年後期
	工芸演習	②	1年後期
	工芸Ⅰ	4	2年前期
	工芸Ⅱ	4	2年後期
	工芸Ⅲ	4	3年前期
	工芸Ⅳ	4	3年後期
	美術材料学 a	1	3年Q3
	美術材料学 b	1	3年Q4
	美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	日本美術史	②
東洋美術史		②	1年後期
美術概論		②	1年後期
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	美術科教育法Ⅰ	④	2年通年
	美術科教育法Ⅱ	④	3年通年
合計	32 単位以上修得		

○付数字は教職必修

高等学校一種（美術）

区分	授業科目	単位数	配当年次
絵画(映像メディア表現を含む。)	絵画演習	②	1年後期
	絵画Ⅰ	4	2年前期
	絵画Ⅱ	4	2年後期
	絵画Ⅲ	4	3年前期
	絵画Ⅳ	4	3年後期
	デッサン	②	2年前期
	版画基礎	2	2年前期
	映像論	②	2年前期
彫刻	彫刻基礎	②	2年前期
デザイン(映像メディア表現を含む。)	基礎造形論Ⅰ	2	1年前期
	基礎造形論Ⅱ	2	1年後期
	デザイン演習Ⅰa	②	2年Q1
	デザイン演習Ⅰb	②	2年Q2
	デザイン演習Ⅱa	2	2年Q3
	デザイン演習Ⅱb	2	2年Q4
	デザイン基礎	2	1年後期
	メディア基礎	2	1年後期
美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジア の美術を含む。)	日本美術史	②	1年前期
	東洋美術史	②	1年後期
	美術概論	②	1年後期
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	美術科教育法Ⅱ	④	3年通年
合計	35 単位以上を修得		

高等学校一種（工芸）

区分	授業科目	単位数	配当年次
図法・製図	図学	②	1年後期
デザイン	基礎造形論Ⅰ	2	1年前期
	基礎造形論Ⅱ	2	1年後期
	デザイン演習Ⅰa	②	2年Q1
	デザイン演習Ⅰb	②	2年Q2
	デザイン演習Ⅱa	2	2年Q3
	デザイン演習Ⅱb	2	2年Q4
	デザイン基礎	2	1年後期
	メディア基礎	2	1年後期
工芸制作(プロダクト制作を含む。)	工芸演習	②	1年後期
	工芸Ⅰ	4	2年前期
	工芸Ⅱ	4	2年後期
	工芸Ⅲ	4	3年前期
	工芸Ⅳ	4	3年後期
工芸理論・デザイン理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統工芸及び アジアの工芸を含む。)	工芸史	②	1年前期
	工芸概論	②	1年後期
	日本美術史	②	1年前期
	東洋美術史	②	1年後期
	デザイン概論Ⅰ	②	1年前期
	デザイン概論Ⅱ	②	1年後期
	美術材料学 a	1	3年Q3
	美術材料学 b	1	3年Q4
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	工芸科教育法	④	3年通年
合計	35 単位以上を修得		

【スポーツ科学科】

中学校一種（保健体育）

区分	授業科目	単位数	配当年次
体育実技	スポーツ実技Ⅰ（水泳）	①	2年前期
	スポーツ実技Ⅱ （体づくり・ニュースポーツ）	①	1年後期
	スポーツ実技Ⅲ（陸上）	①	2年前期
	スポーツ実技Ⅳ （テニス・バドミントン）	①	2年後期
	スポーツ実技Ⅴ（ハレーボール）	①	3年前期
	スポーツ実技Ⅵ（ダンス）	①	3年前期
	スポーツ実技Ⅶ （器械体操・トランポリン）	①	3年後期
	スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）	①	3年後期
	スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）	①	2年前期
	スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）	1	2年後期
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	体育原理	②	3年前期
	スポーツ心理学	②	1年後期
	スポーツ経営管理	②	2年後期
	地域とスポーツ	②	2年後期
	運動学	②	2年前期
	体育史	②	3年前期
	トレーニング論	2	1年後期
	スポーツ文化論	2	3年後期
	スポーツボランティア論	2	4年前期
	スポーツボランティア演習	2	4年前期
	スポーツ測定評価	2	1年後期
	運動処方	2	1年後期
	スポーツコンディショニング論	2	2年前期
	コーチング論	2	3年前期
	メンタルトレーニング論	2	3年前期
	スポーツ技術・戦術論	2	3年前期
	スポーツ競技の心理	2	3年後期
競技者育成システム	2	4年前期	
生理学（運動生理学を含む。）	運動生理学	②	1年前期
	スポーツ栄養学	2	2年後期
	健康科学	2	1年前期
	機能的解剖学	2	1年後期
衛生学・公衆衛生学	衛生・公衆衛生学	②	2年後期
	病理学	2	3年後期
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健	②	2年後期
	スポーツ医学（救急処置を含む。）	②	3年前期
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	保健体育科教育法Ⅰ	④	2年通年
	保健体育科教育法Ⅱ	④	3年通年
合計	37単位以上を修得		

高等学校一種（保健体育）

区分	授業科目	単位数	配当年次
体育実技	スポーツ実技Ⅰ（水泳）	①	2年前期
	スポーツ実技Ⅱ （体づくり・ニュースポーツ）	①	1年後期
	スポーツ実技Ⅲ（陸上）	①	2年前期
	スポーツ実技Ⅳ （テニス・バドミントン）	①	2年後期
	スポーツ実技Ⅴ（ハレーボール）	①	3年前期
	スポーツ実技Ⅵ（ダンス）	①	3年前期
	スポーツ実技Ⅶ （器械体操・トランポリン）	①	3年後期
	スポーツ実技Ⅷ（柔道・剣道）	①	3年後期
	スポーツ実技Ⅸ（ソフトボール）	①	2年前期
	スポーツ実技Ⅹ（野外スポーツ）	1	2年後期
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	体育原理	②	3年前期
	スポーツ心理学	②	1年後期
	スポーツ経営管理	②	2年後期
	地域とスポーツ	②	2年後期
	運動学	②	2年前期
	体育史	②	3年前期
	トレーニング論	2	1年後期
	スポーツ文化論	2	3年後期
	スポーツボランティア論	2	4年前期
	スポーツボランティア演習	2	4年前期
	スポーツ測定評価	2	1年後期
	運動処方	2	1年後期
	スポーツコンディショニング論	2	2年前期
	コーチング論	2	3年前期
	メンタルトレーニング論	2	3年前期
	スポーツ技術・戦術論	2	3年前期
	スポーツ競技の心理	2	3年後期
競技者育成システム	2	4年前期	
生理学（運動生理学を含む。）	運動生理学	②	1年前期
	スポーツ栄養学	2	2年後期
	健康科学	2	1年前期
	機能的解剖学	2	1年後期
衛生学・公衆衛生学	衛生・公衆衛生学	②	2年後期
	病理学	2	3年後期
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健	②	2年後期
	スポーツ医学（救急処置を含む。）	②	3年前期
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	保健体育科教育法Ⅱ	④	3年通年
合計	42単位以上を修得		

Ⅲ. 教育の基礎的理解に関する科目等（栄養教諭）

免許法上の科目区分	授業科目名	単位数		配当年次	備考	
		必修	選択必修			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2		1年後期	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2		1年前期	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学	2		2年前期	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学修の過程	教育心理学	2		2年前期	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1		2年前期	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		1年後期	
道徳・総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育論	2		2年前期	
	特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践		2		3年前期	
	教育の方法及び技術	教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)	2		2年後期	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	2		2年後期	
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2		3年後期		
栄養教育実習	栄養教育実習	栄養教育実習事前事後指導	1		4年前期	
	栄養教育実習	栄養教育実習	2		4年前期	
教職実践演習	教職実践演習(栄養教諭)	2		4年後期		
合 計			26			

注1 表中の科目は、卒業要件に含まれない。

Ⅳ. 栄養に係る教育に関する科目

【栄養学科】

栄養教諭一種

区分	授業科目	単位数		配当年次
		必	選	
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校栄養教育法	2		3年前期
幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項				
食生活に関する歴史的及び文化的事項	食に関する指導法	2		3年後期
食に関する指導の方法に関する事項				
合計	必修4単位を修得			

V. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定められた科目

所属する学部で定められた、「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の各科目を修得する必要がある。

学 部	区 分	該当科目	単位数	備 考
文学部	日本国憲法	法学Ⅱ(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	English Communication I	2	
		English Communication II	2	
		英語プレゼンテーション初級Ⅰ 英語プレゼンテーション初級Ⅱ	2 2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
経済学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰa コンピュータ基礎演習Ⅰb	1 1		
経済情報学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰa コンピュータ基礎演習Ⅰb	1 1		
芸術学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
スポーツ科学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
栄養学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ	2 2	これら2科目より 1科目選択必修	

(2) 教員養成課程の履修について<教育学部>

① 教員養成課程について

教育学部教育学科には、幼稚園教諭一種、小学校教諭一種、中学校教諭一種（英語）の教員免許取得を目的とした教員養成課程が設けられている。

教員を志望する者は、教育職員免許法及び本学が定める所定の単位修得のみを考えるのではなく、各科目の成績が優秀であるようにすること、将来教員となる人間としてふさわしい言動や態度を心がけ、高度の良識と豊かな教養を身につけるよう努力することが必要である。

② 教育学部教育学科で取得できる免許状の種類・教科

教育学部	教育学科	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（英語）
------	------	--

③ 法律に定められている規定

イ. 「教育職員免許法第5条別表第1」に定められている規定

免許状の種類	所要資格	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数
			教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭一種免許状		学士の学位を有すること	51
小学校教諭一種免許状		学士の学位を有すること	59
中学校教諭一種免許状（英語）		学士の学位を有すること	59

ロ. 「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定められている規定

日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位、数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作2単位を修得していること。

④ 専門科目

<領域及び保育内容の指導法に関する科目>

(1) 幼稚園一種の場合

○領域に関する専門的事項

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
健康	幼児と健康	②	○付数字は必修科目
人間関係	幼児と人間関係	②	
環境	幼児と環境	②	
言葉	幼児と言葉	②	
表現	幼児と表現	②	

○保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

科目区分	授業科目	単位数	備考
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論	①	○付数字は必修科目
	保育内容指導法（健康）	①	
	保育内容指導法（人間関係）	①	
	保育内容指導法（環境）	①	
	保育内容指導法（言葉）	①	
	保育内容指導法（表現）	①	

<教科及び教科の指導法に関する科目>

(1) 小学校一種の場合

○教科に関する専門的事項

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
国語（書写を含む。）	国語（書写含む）	②	○付数字は必修科目
社会	社会	②	
算数	算数	②	
理科	理科	②	
生活	生活	②	
音楽	音楽基礎	②	
図画工作	図画工作	②	
家庭	家庭	②	
体育	体育Ⅰ 体育Ⅱ（リズムダンス）	② 1	
外国語	小学校英語	②	

○各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
国語（書写を含む。）	初等教科教育法（国語）	②	○付数字は必修科目
社会	初等教科教育法（社会）	②	
算数	初等教科教育法（算数）	②	
理科	初等教科教育法（理科）	②	
生活	初等教科教育法（生活）	②	
音楽	初等教科教育法（音楽）	②	
図画工作	初等教科教育法（図画工作）	②	
家庭	初等教科教育法（家庭）	②	
体育	初等教科教育法（体育）	②	
外国語	初等教科教育法（英語）	②	

(2) 中学校一種（英語）の場合

○教科及び教科の指導法に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
英語学	英語学概論 英語文法論 英語文法演習 言語習得研究	② ② 2 2	○付数字は必修科目
英語文学	英米文学概論 英米文学史 英米文学講読 英米文学演習 海外英語教材比較研究	② 2 2 2 2	
英語コミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語プレゼンテーション English Writing	② ② ② ② ② 2	
異文化理解	多文化理解概論 文化比較論 グローバル対話論	② 2 ②	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語科教育法Ⅰ	④	
	英語科教育法Ⅱ	④	

<大学が独自に設定する科目>

(1) 幼稚園一種の場合

授業科目	単位数	備考
保育者論	2	○付数字は必修科目 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて10単位以上を修得
保育原理	2	
保育課程論	2	
幼児・児童文化	1	
表現演習Ⅰ	1	
表現演習Ⅱ	1	
体育Ⅱ（リズムダンス）	1	
国際理解教育概論	②	
ICT活用教育概論	②	
障がい児保育	2	

(2) 小学校一種の場合

授業科目	単位数	備考
国際理解教育概論	②	○付数字は必修科目
ICT活用教育概論	②	
デジタル教材開発	2	
「チーム学校」と学校組織マネジメント	②	
障がい児教育	2	

(3) 中学校一種（英語）の場合

授業科目	単位数	備考
国際理解教育概論	②	○付数字は必修科目
ICT 活用教育概論	②	
デジタル教材開発	2	
「チーム学校」と学校組織マネジメント	②	
障がい児教育	2	

<教育の基礎的理解に関する科目等>

(1) 幼稚園一種の場合

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営概論	②	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②	
談等の道徳、総合的時間等に関する科目 生徒指導、指導法及び教育相談	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）	②	
	幼児理解の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	幼児理解と教育相談	②	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（幼・小） 教育実習指導（幼・小） 教育実習Ⅰ（幼） 教育実習Ⅱ（幼） 教育実習指導Ⅰ（幼） 教育実習指導Ⅱ（幼）	4 1 2 2 1 1	「教育実習（幼・小）」及び「教育実習指導（幼・小）」もしくは「教育実習Ⅰ（幼）」「教育実習Ⅱ（幼）」「教育実習指導Ⅰ（幼）」「教育実習指導Ⅱ（幼）」を選択必修
	学校体験活動	学校インターンシップ	2	
	教職実践演習	保育・教職実践演習（幼） 教職実践演習（幼・小・中）	2 2	

(2) 小学校一種の場合

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営概論	②	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②	
生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	②	「教育実習（幼・小）」及び「教育実習指導（幼・小）」もしくは、「教育実習（小・中）」及び「教育実習指導（小・中）」もしくは、「教育実習 A」及び「教育実習指導（小・中）」を選択必修 「教育実習 A」を履修する場合は、「学校インターンシップ」を併せて履修すること
	総合的な学習の時間の指導	総合的な学習の時間の指導法	②	
	特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	②	
	教育の方法及び技術	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）	②	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	②	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	②		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（幼・小）	4	
		教育実習指導（幼・小）	1	
		教育実習（小・中）	4	
		教育実習 A	2	
教育実習指導（小・中）		1		
学校体験活動	学校インターンシップ	2		
教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中）	②		

(3) 中学校一種（英語）の場合

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営概論	②	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	②	「教育実習（小・中）」及び「教育実習指導（小・中）」もしくは、「教育実習 A」及び「教育実習指導（小・中）」を選択必修「教育実習 A」を履修する場合は、「学校インターンシップ」を併せて履修すること
	総合的な学習の時間の指導	総合的な学習の時間の指導法	②	
	特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	②	
	教育の方法及び技術	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）	②	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	②	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	②		
科目 教育実践に関する	教育実習	教育実習（小・中） 教育実習 A 教育実習指導（小・中）	4 2 1	
	学校体験活動	学校インターンシップ	2	
	教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中）	②	

※教育学部教育学科の卒業要件及び履修方法については、教育課程表に示す通りとする。

⑤ 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定められた科目

区 分	該当科目	単位数	備 考
日本国憲法	日本国憲法	②	○付数字は必修科目
体育	体育理論	①	
	体育実技	①	
外国語コミュニケーション	英語 I	②	
	英語 II	②	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ基礎演習	②	

⑥ 介護等の体験

小学校及び中学校の教員免許状取得を希望する学生は、介護等の体験（特別支援学校 2 日間、社会福祉施設 5 日間の合計 7 日間）を行わなくてはならない。介護等の体験は、本学では原則 3 年次に、体験希望者に対してガイダンス及び申し込みを行う。

体験希望者は、社会福祉施設に対する費用を別途払わなくてはならない。（2022 年度は 7,500 円）

⑦ 教育学部教育学科のコースについて

教育学部教育学科では、修得単位数や教育的効果等を考え、以下の 3 つのコースを設ける。

I. 幼稚園教諭・保育士コース

幼児教育の担い手となることを意図し、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格の取得を目指す。

II. 幼稚園・小学校教諭コース

保幼小連携を見据えた、新時代の初等教育の担い手になることを意図し、幼稚園教諭一種免許状と小学校教諭一種免許状の取得を目指す。

III. 小学校・中学校教諭コース

初等・中等教育の連続性を深く理解し、グローバル時代の社会で活躍する児童生徒を輩出する人材になることを意図し、小学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状（英語）の取得を目指す。